

ストーリー9・夏／エピローグ

//.008 の悪夢を見て夜中にうなされて起きた主人公を、
//.隣に添い寝している姫乃が安心させるシーンです。

//.（なお綺羅は反対側でイビキをかいている）

◆⑨ 夏の虫の音フェードイン

（あやすように優しく）せんぱい…：

（姫乃）先輩…？

（姫乃）どうして泣いているんですか…？

（姫乃）また、怖い夢、見たんですか？

（姫乃）ああ、また、私たちの悪夢を、

（姫乃）あのときの記憶を

（姫乃）思い出していたんですね…：

（姫乃）大丈夫、ですよ…：

（姫乃）泣かないでください

（姫乃）私も、綺羅ちゃんも、

（姫乃）どうしようもなかつたんですから…：

（姫乃）仕方なかつたんです

(姫乃) よし、よし

(姫乃) いいんです、先輩

(姫乃) 私たちおかしくなつてしまつたのかも知れなけれど

(姫乃) これは誤つた世界なのかも知れなけれど、

(姫乃) それでも私…

(姫乃) 私たちは、いま、

(姫乃) たしかにしあわせ、なのですから

◆虫の音だけ、しばらく続く

◆フェードアウト